

PRESS

プレス補足資料

アーティストと作品について

「カルマの祭」2026年11月14日（土）・15日（日）／ON THE HILL（加古川市・日岡山公園内）
祭りという社会彫刻／主宰・岡本亮／どんな人が集まるのか／出演者・出店者一覧／開催概要

ABOUT THE ARTIST AND THE WORK ／ アーティストと作品について

カルマの祭りは、
未来に必要なものを集めた祭りなのです。

2026.11.14 SAT — 15 SUN

ON THE HILL（兵庫県加古川市・日岡山公園内）

CALMA by Ryo Okamoto

01 ／ SOCIAL SCULPTURE

祭りという
社会彫刻。

「人間が動物であることを忘れつつあるこの時代に、自然と文化の関係を再び取り戻す、新しい「社会彫刻」」です。

社会彫刻とは、ヨーゼフ・ボイスが約60年前に打ち出した強烈な芸術概念です。芸術は展示会や美術館だけに収まるものではありません。

もはや何でもありのこの時代に、何が重要なのか?を作品にできるかどうか?がアーティストの課題です。

そこでCALMAは、自然と技術、暮らしの知恵を創造し形にする仲間が集い、未来に続く「部族の祭」**その現象そのものが現代美術たりえる**と提唱します。過去から続き、現在も必要とされる文化は未来に続く強度があるのです。カルマは未来に必要な現代を抽出し作品化します。カルマの祭りは未来に必要なものを集めた祭りなのです。

CALMA by Ryo Okamoto

社会彫刻
SOCIAL SCULPTURE

ドイツの芸術家ヨーゼフ・ボイス（1921–1986）が提唱した芸術概念。彫刻家が素材に形を与えるように、人々の思考や行動が社会を形づくるとし、「誰もが芸術家である」と唱えた。代表的な実践に、市民とともに7000本の樫の木を植えたプロジェクト《7000本の樫の木》（1982年〜、ドイツ・カッセル）がある。

公共の丘で
PUBLIC

カルマの祭が開かれるのは、加古川市の日岡山公園の中にある丘です。入場は無料（今後、有料化を予定しています）。美術館やギャラリーではなく、誰もが通りかかれる公共の場所で、招かれた作り手と演者、訪れた人、そして場所そのものが、二日間だけ一つの作品を形づくります。



ON THE HILL と藁のステージ



作り手本人が店に立つ



夜の藁のステージ

※写真はすべて2025年開催時

02 ／ ARTIST

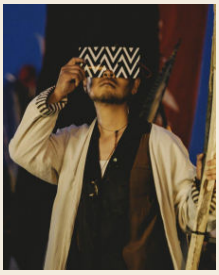
岡本 亮

RYO OKAMOTO

アーティスト ／ CALMA 主宰

> **人間は自然である。**
> **自然は未来である。**
> **未来は現在にある。**
>
> CALMAの標語

> そういう場所に身をおけたとき、自分の肌から１㍉向こう側の自然をヒリヒリかんじる。
>
> 岡本亮「モンゴル平原/砂漠二輪旅（思考編）」2024年より



1977年、兵庫県生まれ。1996年から2000年までロンドンのキャンバーウェル大学、セントラル・セント・マーチンズで芸術を学ぶ。その後、アラスカでのカヌー1000km・全行程野営の旅や世界放浪、輸入雑貨店の経営を経て、民族学に傾倒する。

30歳の頃、「自分が鳥肌の立つものだけを題材にする」と決め、オフロードバイクや鮎突きなど、自らの身体で自然と向き合う営みを制作の軸に据える。

2018年、アートブランド「CALMA」を設立。博物館で鑑賞される「部族」は遠い異国や数千年前の人々の記録だが、今を生きる私たちもまた、未来から見れば鑑賞の対象になる——この「未来の部族」の視点から、衣食住、移動、信仰、儀式までを作品化している。平面・立体にとどまらず、プロダクト、空間、行為、祭りまで、ブランドの傘の下にある活動すべてを作品とする「アートブランド」は、岡本の造語である。

2017	奈良の芸術祭「WSMA」に参加。DRIVETHRU神保氏と共同制作した、改造バイクで校庭にレース場をつくる作品《TANABATA RACEWAY》（レース前日に行政の指示で中止）
2018	アートブランド「CALMA」設立 ／ 展示「ART FLAT」（東京・初台）、「三条スパイス研究所」（新潟・燕三条「工場の祭典」）、「GOOD NEIGHBORS」（鹿児島・ASH#11、服飾デザイナーHiHiHiと共同）
2019	床の間展示「創業193年 旅館大村屋」（佐賀・嬉野）／「Hi CALMA NEW-YORK」（鹿児島・ホテルニューニシノ、ASH#12）
2020	「EUTOPIA展」（鹿児島・RHYTHMOS、Ash#13）
2021	個展「PEOPLE from the EUTOPIA」BEAMS JAPAN B gallery（東京・新宿）／「ANCIENT HEROS」FARO神楽坂（東京）／RIMOWAから提供を受けたアルミのスーツケースに革を張り込んだ作品を発表
2022	「TRIBE BIBLE」FARO神楽坂（東京）／「MIND TRAIL 心の中の美術館」（奈良・曽爾村、野外展示《Sticker Tune》）／加古川市・日岡山公園内に拠点「ON THE HILL」をプロデュース
2023	マツモト建築芸術祭（長野・松本、長野県宝「旧司祭館」を丸ごと展示空間に）／森道市場「ミステリアスウォーク」（愛知・蒲郡）／神戸・元町高架下「モトコーミュージアム」の制作を指揮し、全6回のイベントを統括
2024	モンゴルの平原と砂漠を二輪で10日間走る旅
2025	個展「カルマの世界」MASUMI SASAKI GALLERY（東京・江東区）、山窩（岡山・真庭）／森道市場「ミステリアスウォーク」／「カルマの祭」初開催（二日間でおよそ2,600人が来場）
2026	「CALMANOMA SAUNA」（ON THE HILL）／アートフェア「Tennoz Contemporary」（TENNOZ ART WEEK 2026）にMASUMI SASAKI GALLERYの特別展示で参加（東京・天王洲）

03 ／ THE YEAR OF CALMA

祭りは、一年の活動のいちばん最後にある、出会いの収穫祭。

SUMMER

CALMA WATER CLUB

奈良・東吉野の川で、短い解禁期間だけ鮎突きを案内する。水の中から川を見る。

AUGUST

ラビッシュ・ラビット・プロジェクト

月から来たゴミうさぎとともに川を掃除する。参加者は作品の出演者になる。

6 MONTHS

CALMA ART CLUB

ON THE HILLで、アートとデザインを「知る・話す・動く」の3段階で学ぶ講座。

NOVEMBER

カルマの祭

一年で出会った作り手と演者を招き、加古川の丘で二日間だけ部族の祭を開く。

どんな人が集まるのか

「カルマの祭りは、未来に必要なものを集めた祭りなのです。」（岡本亮）――出店・出演はすべて招待制。全国17都府県から集まる52組の出店者と21組の出演者のうち、この祭の考え方がよく表れている19組を紹介します（次のページに続きます）。



左：三宅洋平トリオ（アーティスト写真）／右：HIMI（アーティスト写真）

LIVE

三宅洋平トリオ with HIMI

バンド「犬式」のボーカルとして知られる三宅洋平のトリオ（YOHEI・SHO・WILLIE）に、HIMI（佐藤緋美）が加わる、この祭だけの編成。HIMIを迎えての出演は今回が初めてです。HIMIは父に俳優の浅野忠信、母に音楽家のCharaを持つ26歳。Charaとの楽曲共作など音楽家として活動し、俳優としてはNHK連続テレビ小説『ブラッサム』に作家役で朝ドラ初出演を果たしています。三宅洋平は昨年に続いての出演です。



々がつくった藁のステージ（2025年のカルマの祭）

MAIN STAGE

##々（ノマ）

石川県珠洲市の交流拠点「のとすずハウス」（奥能登国際芸術祭）などの施工を手がけるチーム。昨年のカルマの祭では、ウッドデッキの上に藁でステージをつくり、来場者や出演者から好評を得ました。今年も々が藁のステージをつくり、メインステージを担当します。

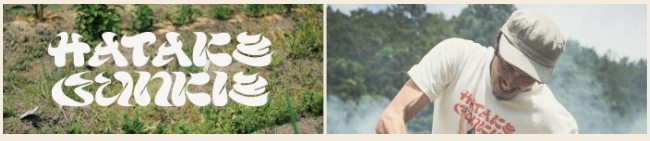


HIHIHI（出店者提供）

SHOP ／ 鹿児島

HIHIHI（ひひひ）

デザイナーの末田昌士が2008年、東京・奥多摩のテントから始めた服のブランド。2011年に鹿児島へ拠点を移し、自然素材を使い、着心地を大切にした日々の服をつくっています。家族の暮らしやこどもの絵からも着想を得ています。CALMAとは2018年の「GOOD　NEIGHBORS」（鹿児島）から展示を重ね、森道市場の「ミステリアスウォーク」（2023・2025年）もともに手がけました。



HATAKE JUNKIE（2025年出店時の提供写真）

SHOP ／ 京都

HATAKE JUNKIE（ハタケジャンキー）

栗原徹とエガーラを中心に、京都市北部で、それぞれ本業を持つ仲間たちが十年手つかずだった耕作放棄地を開墾し、伝統的な無農薬栽培と実験的な農法で野菜や米を育てるチーム。ホットソースなどの加工品とならんで、レコードやカセットも扱います。出店チームには、今回の出演者でもあるPICHUUと本田Qも加わります。音楽に深く通じながら、畑と暮らしに向き合う人たちです。



住吉社中（アーティスト写真）

LIVE ／ 鹿児島・いちき串木野

住吉社中

鹿児島県いちき串木野市を拠点にする、芸者・住吉小糸さん率いる一座。かつて鹿児島の町にたくさんいた「町芸者」の「てこしゃんせん」文化を受け継ぎ、唄・三味線・舞を、かわいいこどもたちも一緒に披露します。小糸さんの軽妙なトークで場がほどけ、一気に華やかになるのがこの一座の真骨頂。南国らしい明るさの奥に、鹿児島芸者の心意気が光ります。お座敷の芸が、藁のステージに上がります。昨年に続いての出演です。



Cafe いかなてて（出店者提供）

SHOP ／ 石川・珠洲

Cafe いかなてて／狼煙RECORDS

能登半島のさいはて、石川県珠洲市狼煙町のスパイスカレーとカフェの店。レコードを扱う「狼煙RECORDS」もあわせて出店します。カルマの祭では、珠洲の揚げ浜塩だけで味つけしたパキスタン式の無水チキンカレーを出します。お米は地元・狼煙産の石川県ブランド米「ひゃくまん穀」。CALMAと々（ノマ）が能登で続けてきた活動からつながりました。

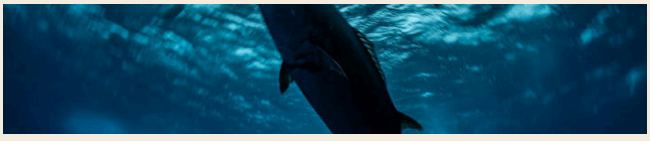


仁井田本家（出店者提供）

SHOP ／ 福島・郡山

仁井田本家

1711年（正徳元年）創業、今年で315年の酒蔵。「日本の田んぼを守る酒蔵」を掲げ、2011年に日本で初めて、すべての酒を農薬・化学肥料を使わない自然米で醸す蔵になりました。自社の山で育った杉で木桶をつくり、自社田の米で仕込みます。パタゴニア　プロビジョンズとの日本酒「しぜんしゅ　やまもり」でも知られ、2025年版は日本で初めてリジェネラティブ・オーガニック認証を取得した日本酒になりました。



映画『MISSION 100』より

MOVIE & TALK MISSION 100

小坂薫平／映画『MISSION 100』

素潜り・手銛一本で100キロ超のイソマグロを獲る――スピアフィッシャー小坂薫平さんの10年越しの挑戦を追うドキュメンタリー。2025年5月に105.5キロのイソマグロを仕留め、「第30回 植村直己冒険賞」を受賞しました。CALMAもデザインと映像制作で協力しています。会場では「PEACE BUILDING」（Solidarity With You／野崎華奈）とあわせて上映とトークを行います。

※一部の写真は2025年開催時

どんな人が集まるのか（つづき）

公式サイトの「注目の出演・出店」で紹介している顔ぶれです。



LIVE

THG, HIMI and MANAW

ギターのTHG、ギター・ベース・ボーカルのHIMI、ドラムとトンコリのMANAW（asound）の3人。THGのセッションにHIMIが現れ、「Jamろうよ！」の一言で始まった、リハーサルなしの即興ジャムです。その場の空気で生まれる演奏の行方は、本人たちにもわかりません。



LIVE

HOU and MARRON

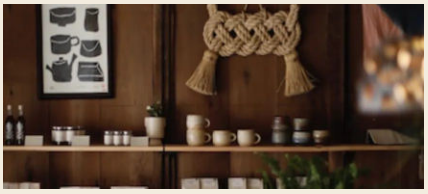
宮崎の民謡もアレンジして唄う、即興多めの唄い手・houと、京都を拠点にNEWDAYやだててんりゅうでも弾くギタリスト・marron aka dubmarronicsのふたり。マロンギターの「必殺カルマ落とし」が炸裂する予感です。



LIVE ／ 京都

SOFT

京都のパーティーシーンと音楽カルチャーを支えてきたバンド。結成から30年を超え、2024年に11枚目のアルバム『Passing Tone』を発表しました。結成時からのSIMIZ（ギター）、UCON（ベース）、PON2（ドラム）に、エレクトロニクスのKNDを加えた4人です。



SHOP ／ 岡山

山窩-旅とてしごと

「旅とてしごと」をコンセプトに、器や服、古道具、日用品、加工品など、暮らしにまつわる品々をしつらえて提案するお店です。



SHOP ／ 宮崎

廣池千洋

20代から世界を旅するなかでアクセサリーづくりに出会う。チベットの民やネパールのシャーマン、インドのサドゥ、縄文の世界観と響き合う御守りをつくっています。故郷の宮崎で山林を開墾し、田畑を耕し、いまは山小屋を建てています。



SHOP ／ 鹿児島

DWELL × NORTH TRUNK

家内制手工業を地でいくDWELL。今年は宮崎のNORTH TRUNKと組み、旅の相棒になる車中泊車を2台展示します。妻・夕さんが車中泊に必ず持っていく食べものの販売、息子・イサムさんによる革や籐のワークショップも。



SHOP ／ 奈良・東吉野

Felix Conran Shop

プロダクト、家具、建築まで手がけるイギリスのデザイナー。祖父はサー・テレンス・コンラン。セントラル・セント・マーチンズで学び、家具ブランド Maker & Son を共同設立。2024年に奈良県東吉野村へ拠点を移し、スタジオ「Ha Partners」を設立しました。2026年グッドデザイン賞の審査員も務めます。



WORKSHOP ／ 大阪

レヴェイユ小夢（さゆめ）の数秘術セッション

社交界やクラブのパーティーに夜な夜な現れる、ドラァグクイーンの占い師。現代数秘術を中心に、使命や相性、未来から子育てまで「あなたの人生の取扱説明書」を読み解きます。鑑定歴13年、延べ17,000件。



FOOD ／ 東京

存在飯店

実店舗を持たず、全国各地を「マレビト」のように訪れてポップアップを重ねる料理店。再現できない一回きりの場が、お祭りに似た熱を生みます。土地の特色や旬を活かした料理が得意です。



SHOP ／ 東京

GOHEMP

農薬や化学肥料なしで育つヘンプに注目して、1994年に始まったブランド。当日はアーティストの間弓浩司さんがプリントワークショップを開き、着心地がよく環境にもやさしいヘンプウエアを、楽しみながら手に入れられます。



SHOP ／ 東京

AMANE MURAKAMI

グラフィックアーティストとして、ファッションや音楽、雑誌のデザインを手がけてきた村上周さん。アートの視点でものをつくるプロダクトブランド「amabro」や、中目黒の「BRICK & MORTAR」を展開しながら、アート作品を発表しています。

※ 写真は出演者・出店者提供

05 ／ LINE UP

出演者・出店者一覧

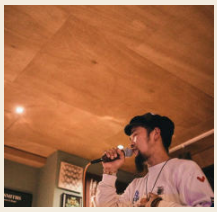
LIVE ARTISTS & DJ

21組

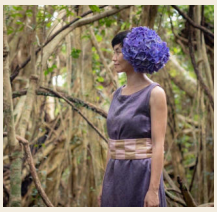
カルマの祭ならではのアーティスト、DJたちが今年も集まってくれました。ウッドデッキに作られた藁のステージで会場を盛り上げてくれます。


住吉社中


DJ KENSEI


TAISONG


SOFT


HOU and MARRON


SWANS



三宅洋平トリオ with HIMI


MARRON aka DUBMARRONICS


THG, HIMI and MANAW


西村竜哉


OGAWAKUN


AKIHITO

ほか　RATORUKURIHA／PICHUU／ALMOND／DJ MKY／UCON／米立／YOKOYAMA宇宙／GREENWORKS／本田Q

MOVIE & TALK

2組

PEACE BUILDING
タイ・ミャンマー国境での若者たちの出会いと対話
Solidarity With You／野崎華奈

映画『MISSION 100』
素潜り、手銛で100キロ超のマグロを獲る
小坂薫平

SHOPS

17都府県・52組（招待制）

鹿児島	HIHIHI／ママコト／DWELL × NORTH TRUNK ／ DWELLのおかみさん × まきまき屋
宮崎	廣池千洋
大分	EUKARYOTE
福岡	TISSUE PAPERS（15日のみ）
山口	山草
島根	音鳴文庫／IMAGINE COFFEE
岡山	山窩-旅とてしごと／aïnisomatte
鳥取	土塊／元今歩／汽水空港（15日のみ）
兵庫	AYASHROOM／SAKE UNDERGROUND（14日のみ）／HANI2／サトルうさこ農園／アンティークガレージ47／THE FUNKYPAELLA／BLITZ DOUGHNUT／YOUTH COFFEE／せと果／INCLINE／ハル整体／八方美米・八方美菜／BURI／自転プレス／SOUP DELI EINO／ホロホロのチャイ屋さん／ワゴムクライミングジム／NEBRASKA LEATHER WORKS／こども市場
京都	HATAKE JUNKIE／やまだまやが猫を描く店／SOLIDARITY WITH YOU／NATURAL FOOD VILLAGE／BATTERING RAM BAR by Kirika & Dai／camico
大阪	レヴェイユ小夢の数秘術セッション
奈良	ETCH, SKETCH, ONE TOUCH／Felix Conran Shop
和歌山	植芝ジン／藏光農園
石川	Cafe いかなてて／狼煙RECORDS
福島	仁井田本家
新潟	meguru／me meets me／toriko
東京	GOHEMP／FRAGRANCE YES／存在飯店／思い出の骨董屋／amabro by AMANE MURAKAMI

※ タイムテーブルは公式サイトで公開中

06 ／ ABOUT

「カルマの祭」とは「人間が動物であることを忘れつつあるこの時代に、自然と文化の関係を再び取り戻す、新しい「未来を創造する社会彫刻」」です。

自然と技術、暮らしの知恵を創造し形にする仲間が集い、「部族の祭」として現代美術に一石を投じます。過去から続き現在も必要とされる文化は未来にも続く強度がある未来なのです。

戦争、経済、競争、権力そういったいつまでも「センスのない欲望」にまみれた人間だけではない、地球や自然に軸足をおいた、新しい未来の話がしたいと皆さんにあつまってもらいました。

この祭りをもりあげることで、暗いディストピア的未来を否定し、明るい未来をともに創造していきましょう。みなさんの力をおかしください。

CALMA by Ryo Okamoto

INFORMATION

名称	カルマの祭
会期	2026年11月14日（土）・15日（日）
時間	11:00–20:00 LIVE / SHOP 20:00–22:00 DJ & BAR（両日）
会場	ON THE HILL 兵庫県加古川市加古川町大野1754-2 日岡山公園内
入場	無料・事前受付制（※今後、有料化を予定しています）
出店	52組（招待制）
主催	株式会社ムサシ
企画	CALMA by Ryo Okamoto

取材について

主宰・岡本亮へのインタビュー、当日の取材を承ります。出演者・出店者へのインタビューや、準備中の会場（藁のステージの設営など）の撮影もご相談ください。

公式	matsuri.c-a-l-m-a.jp
映像	youtube.com/watch?v=FuYzpjzcoz4
素材	ロゴ・メインビジュアル・告知映像・写真 drive.google.com/drive/folders/1NDz05vr8DlG3Ef3f-npkwJPGYbCbaN3b

公式サイト
matsuri.c-a-l-m-a.jp